

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道名寄高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>重点目標 成長実感～促し、寄り添い、自立した学習者へ～</p> <p>経営方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 個別最適な学びと協働的な学びの推進 多様な進路に対応する組織的・系統的なキャリア教育の推進 英語教育及び国際理解教育の推進 自他の生命を大切にし、多様性を尊重する意識と態度の育成 不登校や障がいなどによる特別な配慮を必要とする生徒への組織的な支援の充実 業務の平準化を図る組織マネジメントの推進 学校運営協議会をはじめとした地域連携の充実 <p>指導上の重点事項</p> <p>学習指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習支援ツール等の多様な教材を活用することにより指導の個別化を図る。 興味・関心に応じた課題に取り組む総合的な学習の時間等により学習の個性化を図る。 探究活動等を通じ、多様な他者と協働して学ぶ機会の充実を図る。 主体的に学習に取り組む態度の評価改善に努め、生徒の学びに向かう力を育てる。 <p>生徒指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 「いのち」の大切さを理解し、いじめや差別を許さない思いやりのある心を育む。 社会への参画を積極的に促し、社会の一員として自覚と責任ある行動ができる生徒を育成する。 生徒一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援・指導を行い、安心できる学習環境を整える。 成功体験を積ませる機会を多く提供することで、自己肯定感と自己有用感の醸成を図る。 <p>進路指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己の在り方や社会について主体的に探究し、進路を自ら選択する能力を養う。 進路情報を収集・発信し、各種体験・相談活動を適切に進め、ガイダンス機能の充実を図る。 外部講師や地域の教育力を活用し、自らの進路を切り拓く意欲や能力の育成に努める。 計画に基づく系統的な探究活動と進路指導を通じ、進路実現に必要な能力を育む。 <p>健康安全</p> <ol style="list-style-type: none"> 生命を守るための訓練を強化し、助け合いの精神を育む取り組みを推進する。 健康の保持増進のための知識と実践力を高める取り組みを推進する。 安全点検を徹底し、快適で安心できる学習環境を整備し、美化意識を高める。 地域や関係機関との連携体制を強化し、本校の特色や魅力を効果的に発信する。
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	個別最適な学びや探究活動、主体的に学習する態度の育成などにおいて概ね改善が進んだと考えられる。	個別最適な学びや探究活動、主体的に学習する態度の育成などにおいて概ね好評価を得た。
改善方策	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、今後も研究を進める。	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、今後も研究を進める。
生徒指導	いじめ対応や生徒支援など、概ね適切に対応ができたと考えられる。	安全・安心に学べる環境作りや生徒一人一人を尊重することなど、概ね好評価を得た。
改善方策	いじめの見逃しゼロを目指し、今後も改善を進める。	いじめの見逃しゼロを目指し、今後も改善を進める。
進路指導	ガイダンス機能の充実と地域の教育力の活用において、特に改善が進んだと考える。	生徒が進路について考える機会の創出とガイダンス機能の充実において、概ね好評価を得た。
改善方策	進路マップを整備し、ガイダンス機能のさらなる充実を進める。	進路マップを利用し、ガイダンス機能が整備されていることを明示する。
公表方法	学校運営協議会、ホームページ	

3 添付資料

学校評価アンケート集計結果（教職員）、学校評価アンケート集計結果（保護者）